

1日エコライフに参加してみた感想や
温暖化防止へのメッセージをお寄せください。

・切り取って配送担当へお渡してください。
パルコープ総務部・環境担当行き

8月2回・3回注文書のアンケート欄で 1日エコライフに チャレンジしましょう♪

家族で決めた1日を「わが家のエコライフデー」とし、右記の問1～問3は、チャレンジした人数を1～9の数字でアンケート欄にご記入ください。問4～問6は、実行した項目に「1」とご記入ください。

1401	1402	1403	1404	1405	1406
問1	問2	問3	問4	問5	問6
☐	☐	☐	☐	☐	☐

8月2回・3回
の注文書

インターネット注文サイト「eフレズ」からも回答できます（アンケート・資料請求ボタンをクリック）

地球にも お財布にも やさしい

夏のエコは節電がポイント

組合員のみなさんは、どんな「エコ」を心掛けておられますか？

私たちの暮らしの中から二酸化炭素(CO₂)をなるべく出さないことが、地球温暖化防止につながります。まずは「1日エコライフチャレンジ」そして「毎日エコライフ」にしませんか？

昨年の参加人数
3,771名
(組合員さん+職員)
CO₂削減量
約**1,702kg**

エコライフ項目	1日で減らせるCO ₂ 削減量の目安
問1 冷房時の室温を28℃設定にする	149g
問2 冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にかえる	93g
問3 自動車運転はふんわりアクセル(eスタート)	532g
以下は、この夏実行した項目があれば「1」の記入をお願いします	
問4 省エネ性能のよいエアコンに買い替えた	
問5 エアコン使用時に扇風機を併用した	
問6 自動車を使わず、徒歩・自転車・交通機関を利用した	

※1日で減らせるCO₂の量は目安です。
参考：省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」他

組合員活動のコーナー



納豆菌を振りかけた大豆を容器に入れる「盛込み」のようす (左は川崎さん)



5月11日 ウェブ参加 17名(組合員活動委員)

オンライン体験学習会 ～豆紀～

組合員活動委員さんがパソコンやスマートフォンなどを使った「オンライン」での取り組みのヒントにもらう学習会3回目、「コッポ北海道小粒納豆」などを製造している(株)豆紀・川崎さんにお話をいただきました。納豆用大豆としては最高級の「ユキシズカ」。小粒で皮が薄いながらも裂けにくく、甘みが強いのが特徴です。近年は温暖化による異常気象で、見たことも無いような虫が発生するなど苦労がありますが、生産者さんにはできるだけ農薬を使わないように努力されています。

納豆菌を振りかけた大豆を容器に入れる「盛込み」のようす (左は川崎さん)

長いも・オクラ・納豆でネバネバ三昧!

シソの葉にのせて、半分に折って天ぷらにしています。ネバネバが好きでない人も

キムチと納豆を混ぜて、袋状にしたうす揚げに入れてフライパンで焼いています

参加者のわが家のレシピ

シソの葉にのせて、半分に折って天ぷらにしています。ネバネバが好きでない人も

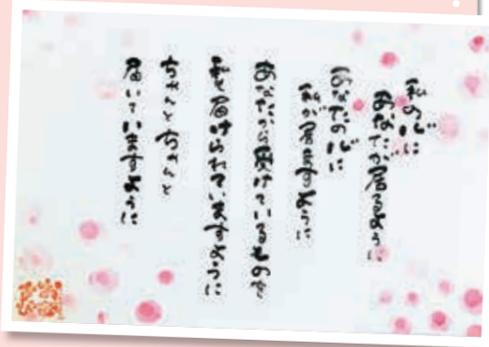
長いも・オクラ・納豆でネバネバ三昧!

細部まで気を配ります」と川崎さん。じっくり蒸して(蒸煮)、納豆菌を振りかけた後、さらに長時間発酵させることで、旨味を最大限に引き出しています。

第6回(最終回) 広げよう! 里親の輪を

お話：大阪乳児院「里親支援機関おむすび」おおく大句さん

未来ある子どもたちのために、里親制度について知ることから初めてみませんか？



みなさんは幼少期の記憶をどのくらい思い出すことができますか？ほとんどの人は幼児期健忘という現象から生後3年間の記憶は残っていないと言われていきます。しかし折に触れ、家族の何気ない語りの中で生まれた場所や名前の由来などを耳にしたり、アルバムを見ることでそれを覚えていることもできます。しかし施設で生活する子どもの中には知りたくても語ってくれない大人がいない、探る手段もないことから自分の記憶に連続性がないという子がいます。

大阪乳児院では入所後の成長や生活を収めたアルバムを作成しています。大人から見れば他愛のないエピソードでも子どもにとってみれば「大事な過去の一部」であり、後から振り返れば、生きていくための糧になっていたということもあるかもしれません。子どもの「今」をできるだけ記録し「自分は小さい時、どんな子だった？」そんな子どもからの問いに答えてあげられるような1冊になるように愛情をこめて作成しています。

子どもが過去をたどり今のつながりを理解し、納得しながら未来をどう生きるか、子どもが前向きに考えられることが、子どもの真の自立を支えることとなります。私たちと一緒に子どもの物語を紡いでくださる里親さんになりませんか。

「里親支援機関おむすび」のホームページはこちら→→→



核兵器のない未来を子どもたちのために

「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」にご協力をお願いいたします

2021年1月に「核兵器禁止条約」が発効されました。この条約を世界の共通ルールに育て、核兵器のない世界を実現していくことが重要です。



「核兵器禁止条約」は、核兵器に関わるあらゆることを禁止した初めての国際条約です。2020年10月に批准国が50カ国に達して条約が発効されました(現在は66カ国)。しかし、日本はまだ署名も批准もしていません。

しかし、日本政府は条約に署名も批准もしないという方針を繰り返すばかり…。「唯一の戦争被爆国」を自称する政府としては許せない、恥ずかしい態度です。

私たちにできることは署名です

パルコープのホームページで、オンライン署名ができます。集まった署名は、日本原水爆被害者団体協議会を通じて日本政府へ届けます。

※署名はオンラインを基本としますが、オンライン署名ができない場合には、7ページ下の組合員サービスセンターにご連絡ください。



スマートフォンの場合はこちらから



8月31日まで